

令和8年9月議会通常会議

教育厚生常任委員会 所管事務調査

大津市生涯学習推進計画 の策定について

令和8年9月18日

教育委員会

目次

●第1章 計画の策定にあたって	3
1-1 計画策定の趣旨	3
1-2 大津市生涯学習推進計画について	4
●第2章 生涯学習を取り巻く動向、現状と 課題等	5
2-1 国及び県の動向	5
2-2 大津市の現状と生涯学習を取り巻く 課題	6
2-3 「生涯学習に関する市民アンケート 調査」結果について	7
2-4 現計画に基づく取り組みの結果と 課題	8

●第3章 計画の基本的な考え方	9
3-1 大津市における生涯学習の基本目標 ..	9
3-2 大切にする視点	10
3-3 基本方針	11
●第4章 施策体系	12
基本方針1 まなぶ	12
基本方針2 ひろげる	13
基本方針3 つづける	14
●第5章 計画の推進	15
●第6章 成果指標	16
●スケジュール	17

第1章 計画の策定にあたって

1-1 計画策定の趣旨

- 教育基本法第3条の理念(生涯学習の理念)

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現

- 第4期大津市教育振興基本計画／大津市教育大綱の理念である

「一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育」

をふまえて策定

※社会教育法に基づき、大津市社会教育委員会議にて立案

第1章 計画の策定にあたって

1-2 大津市生涯学習推進計画について

(1)計画の位置づけ(上位計画)

- 大津市総合計画第3期実行計画
- 第4期大津市教育振興基本計画／大津市教育大綱

(2)計画の期間

- 令和9年度から令和13年度の5年間

第2章 生涯学習を取り巻く動向、 現状と課題等

2-1 国及び県の動向

<国>

● 第4期教育振興基本計画（令和5年度～令和9年度）

- ・2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成
- ・日本社会に根差したウェルビーイングの向上

● 第12期中央教育審議会生涯学習分科会での議論（令和6年6月）

- ・デジタル化による誰一人取り残されない社会
- ・社会的包摂（多様性を認め合い社会の一員として支え合う）への対応
- ・生涯学習社会を支える社会教育人材の育成 など

<滋賀県>

● 滋賀の教育大綱（第4期滋賀県教育振興基本計画）（令和6年度～令和10年度）

基本目標：未来を拓く心豊かでたくましい人づくり

第2章 生涯学習を取り巻く動向、 現状と課題等

2-2 大津市の現状と生涯学習を取り巻く課題

- ・人口減少、少子高齢化の進行
- ・世帯構成の変化(単独世帯の増加)と自治会加入率の低下
- ・地域づくりの担い手の高齢化や後継者不足 など

第2章 生涯学習を取り巻く動向、 現状と課題等

2-3 「生涯学習に関する市民アンケート調査」結果について

- 「1年くらいの間に生涯学習を行った」及び「今後生涯学習をしたい」と答えた人が増加
 - 引き続き、生涯にわたって学べる環境づくりの充実が必要
- 「生涯学習を通じて付き合いが広がった」及び「身に付けた知識・技能や経験を生かしている」と答えた人は減少
 - 個人の「学習の実感」による意識の高まりを
行動(活動・参画)へとスムーズにつなげる支援が必要
- 今後の生涯学習推進に市として、力を入れるべきこと
 - 「公民館など市の施設での学習サービスの充実」
 - 「インターネットを利用した幅広い学習環境の整備」 など

第2章 生涯学習を取り巻く動向、 現状と課題等

2-4 現計画に基づく取り組みの結果と課題

- ・3つの「施策の柱」に基づき全104事業を実施
- ・各所属で定めた数値目標に対して、
「達成」「目標を上回り達成」は68.3%、
事業の実施については、「実施」「ほぼ実施」が93.3%を達成
- ・参加者の伸び悩み、活動団体の固定化や高齢化、
若年層や子育て世代などへの情報発信などが課題

第3章 計画の基本的な考え方

3-1 大津市における生涯学習の基本目標

『誰もが自分らしく学び活動する、

↑社会的包摂(多様性を認め合い社会の一員として支え合う)の観点

『幸せで心豊かに生きるまち大津の実現』

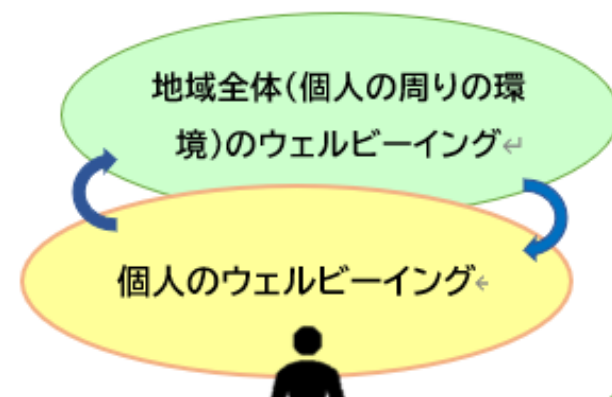
↑ウェルビーイング、人生100年時代の観点

- ・計画策定にあたり、国のコンセプトである「2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成」、「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」、「社会的包摂」等を踏まえていきます。
- ・多様な立場・世代の人々がいつでも生涯学習に取り組めるよう学習機会の充実を図り、共に学び合い活躍する機会を作ること、個人や個人を取り巻く地域社会全体の幸せや豊かさを一体的かつ持続的に向上させていくことを目指します。

第3章 計画の基本的な考え方

3-2 大切にしている視点

- ・「人生100年時代」が到来。市民がいつでも、どこでも、楽しく学ぶことができるよう **多様な機会や場を提供**していく
- ・ライフスタイルの多様化やグローバル化、AI・DXの急速な進展による **時代の変化に対応した学び**を支援していく
- ・地域コミュニティの維持と活性化が課題の中、学びを通して住民自らが社会の担い手として **主体的に関わる**ことや、**学んだ成果を地域や社会で生かす**ようひろげていく
- ・自分らしく学び活動する「**個人のウェルビーイング**」の実現とその経験・成果が地域や社会への貢献に広がることで、「**地域全体のウェルビーイング**」につながり、持続的に好循環していくまちの実現を目指していく



第3章 計画の基本的な考え方

3-3 基本方針

(1)まなぶ ～生涯にわたって学びを楽しむ～

(2)ひろげる ～自らの学びからみんなの学びへ～

(3)つづける ～学び続けるしくみづくり～

第4章 施策体系

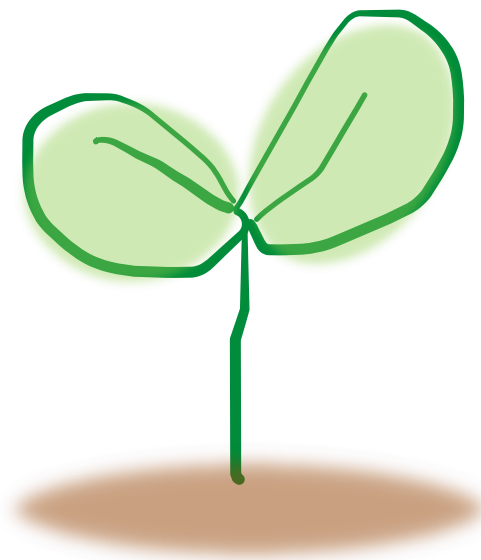
基本方針1 まなぶ ～生涯にわたって学びを楽しむ～

施策1 市民ニーズに応じた多様な学びの提供

- ・人生100年を見据えた多様な学びの支援
- ・ライフステージに応じた学習機会の提供
- ・大津の歴史と伝統、文化や文学に触れる学習機会の提供

施策2 社会で生きる力を育む学びの提供

- ・地域課題や社会へ関心を持つ学習機会の提供
- ・人権学習及び啓発の推進
- ・社会人の学び直しの推進



基本方針2 ひろげる ～自らの学びからみんなの学びへ～

施策1 学習成果の活用のお場づくりの推進

- ・学習成果の発表の機会の提供
- ・学習成果を生かして活動する市民への支援
- ・学びを生かした地域貢献・社会参画の促進

施策2 学びを通じたつながりづくりの推進

- ・地域による自主的な活動の支援
- ・多様な主体との連携・協働の推進

施策3 社会の担い手や学習を支援する人材の育成

- ・地域づくりに主体的に取り組む人材の育成
- ・ボランティアや学習支援者の育成
- ・公民館、コミュニティセンターのコーディネート機能の充実

第4章 施策体系

基本方針3 つづける ～学び続けるしくみづくり～

施策1 社会教育事業の推進

- ・公民館、コミュニティセンター等における主体的な学びの推進
- ・社会教育に関する施策の推進 ・多様な主体の学習環境の充実

施策2 多様な学びを支える体制の整備

- ・地域団体、社会教育関係団体等の活動推進 ・学びの継続のための教育相談や支援
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との一体的な推進

施策3 多様な手段による学習情報の発信

- ・SNS等の電子媒体を用いた情報の発信 ・ICTを活用した学びの場の提供
- ・幅広い媒体による継続的な情報発信

(1)生涯学習の推進について

- ▶ 生涯学習推進本部(庁内組織)の設置
- ▶ 多様な関係主体との連携をはかりながら各施策を展開

(2)進捗管理について

- ▶ 関係所属による自己評価
- ▶ 生涯学習推進本部による事業状況の確認と評価の実施
- ▶ 社会教育委員会議による事業評価

※今後、社会教育委員会議で原案作成予定

・本計画の達成状況を確認するための各指標を設定

※今後、社会教育委員会議で原案作成予定

(参考)大津市生涯学習推進計画(2022-2026)

施策の柱1 生涯にわたって学べる環境づくり

目指す市民の姿（最終アウトカム）	指標
市民が生活の中で新たな気づきや発見をしたり、それぞれの興味や関心、必要に応じて学んでいる。	1年くらいの間に「生涯学習」を行った人の割合 (R3 45.6%) →増加

施策の柱2 つながりづくりへの支援

目指す市民の姿（最終アウトカム）	指標
学びを通して地域の人たちとの交流・付き合いの広がりを感じている。	学びを通して地域の人たちとの交流・付き合いの広がりを感じている人の割合 (R3 55.3%) →増加

施策の柱3 学習成果の活用への支援

目指す市民の姿（最終アウトカム）	指標
すべての市民が、学びを通じて身に付けた知識・技能や経験を生かしている。	学びを通じて身に付けた知識・技能や経験を生かしている人の割合 (R3 60.0%) →増加

今後のスケジュール

本日の教育厚生常任委員会所管事務調査でいただいた意見などを
ふまえて、原案を作成します。

【11月市議会 所管事務調査】

- 計画原案の説明（パブリックコメントの概要報告）
※パブリックコメントの実施（1月上旬から2月上旬）

【2月市議会 報告事項】

- パブリックコメント実施結果報告
- 計画(案)策定報告